

2022年08月24日
SCSK株式会社

SCSK、「AWS マネージドサービスプロバイダプログラム」認定を更新 ～S-Cred⁺プラットフォームなど、マネージドサービスに関する高い技術力を証明～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、アマゾン ウェブ サービス(以下 AWS)のパートナープログラム AWS パートナーネットワーク(以下 APN) サービスパスパートナー向けプログラムである「AWS マネージドサービスプロバイダ (以下 MSP) プログラム」の認定を更新しました。AWS に関する専門性を向上し続けていることや実績の増加が認められ、SCSK は 2019 年から 4 年連続で認定を更新しております。

1. MSPの概要と更新の背景

MSP は、AWS の設計、構築や移行、運用、自動化、最適化までの次世代のマネージドサービスを、高度な技術と仕組みによってお客様に提供する APN パートナーを、AWS が認定するものです。第三者の監査機関によって監査が行われ、このたび SCSK は 2022 年にリリースされたバージョン 4.2.2 の監査基準をクリアしました。S-Cred⁺(エス クレド プラス)プラットフォームなど当社のマネージドサービスの高い技術力が AWS から認められたものとなります。

S-Cred⁺プラットフォームは、「作らない開発」「自動化」「標準化」「知財活用」「デジタル化」「つなぐ」という6つのコンセプトを軸として SCSK が全社的に取り組む「ものづくり革新」の総称である S-Cred⁺を支えるマネージドサービスです。企業のクラウド環境構築や運用の自動化を促進し、ガバナンス/セキュリティの確保と IT システムの継続的改善をサポートする仕組みを提供しており、多数の採用事例があります。

2. 主な採用事例

・AWS をベースに「Rent to Own 型バイクレンタルサービス」を新規創出。ケニアで労働意欲のある人にバイクと情報と「成長する喜び」を提供(本田技研工業株式会社 様)

<https://www.scsk.jp/case/case-details/202206honda/>

・CX の実現に向けたシステム基盤の抜本改革に AWS を採用。運用管理の自動化が IT 要員の負荷を下げ、コアへ注力可能(三井不動産レジデンシャルサービス株式会社 様)

<https://www.scsk.jp/case/case-details/202203mitsui-kanri/>

・自社の新型コロナウイルスワクチン職域接種予約システムを「S-Cred⁺プラットフォーム」と AWS の組み合わせにより短期間で構築

<https://www.scsk.jp/news/2021/press/product/20210712.html>

SCSKのAWS支援と技術人材育成の取り組み

AWS プレミアティアサービスパートナーのSCSKは、東京リージョン開設と同時に AWS サービスの提供を開始して以降、SIer ならではの業界理解と AWS 上のアプリケーション構築ナレッジを強みに、多種多様なお客様に向けた AWS 導入を手掛けてきました。また、AWS サービスを活用した独自の人材教育システムにより、高度かつ実践的な知識を習得するための AWS 技術人材育成を強力に推進しております。

今後もSCSKは、さまざまな AWS サービスでお客様のクラウド活用を支援してまいります。

●SCSKが提供する AWS サービス:<https://www.scsk.jp/sp/usize/service/aws.html>

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

クラウドサービス事業本部 クラウドサービス部 菊田・飯島

E-mail:usize-info@ml.scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。